

持続可能な水循環社会に向けて



東野 敏也

Toshiya HIGASHINO

株式会社 堀場アドバンスドテクノ
代表取締役社長

東野敏也

「水」は、人間をはじめとする生物が生きていくうえで、欠かせないものです。地球上には豊富に水が存在するものの、そのほとんどは海水で、私たちが利用しやすい地表の淡水はごく一部です。しかし、このわずかな淡水資源は、実は自然界における水の循環プロセス(水蒸気・雨・地表水・海水…)中の一形態であり、結局は地球上のすべての水とつながっています。また、日々の暮らしや産業活動の中で、人は、海や川などの自然環境から水を採取し、上水道などで運んで使用し、最後には環境に戻しています。ここにも、人の営みに伴うもう一つの水の循環が存在すると言えます。

このように互いにクロスする水の循環(Life cycle of water)の輪を最適に保つためには、さまざまな場面・目的での水・液体の計測が必要となります。HORIBAグループは、「堀場製作所」が1950年、創業製品として国産初のガラス電極式pH計を上市して以来、“はかる”技術を追及してきました。現在では、環境水・飲料水だけでなく、食品・製薬・半導体・自動車などあらゆる産業の生産プロセスにおいて、直接的または間接的に水・液体を計測する技術を提供しています。

HORIBAの水・液体の計測技術は、上述した水の循環における計測ニーズやアプリケーションの変化にあわせて進歩してきました。さらに近年、情報通信技術の急速な発展を背景に、ICTやクラウドシステムによるビッグデータの活用により、計測技術に新たな価値を付加する可能性が生まれています。そして、資源と環境の両面で持続可能な循環型社会を、これまでの“はかる”から一歩進んで、より積極的にサポートすることが期待されていると感じています。この流れの中で計測機器に要求されるのは、簡単・迅速・リアルタイムな計測、さらには自動化・リモート操作の実現です。創業後70年間で培った水・液体のセンシング技術を基盤に、計測と製品機能の最新ニーズを的確に把握し、環境の保全・改善に対するソリューションを

グローバルに提供していくことこそ、HORIBAグループの使命と考えます。計測を通じて「水」と対話をしてきた長年の実績を生かし、信頼されるパートナーとして、「環境」「健康」「社会」に貢献していきたいと願っています。

2017年1月、HORIBAグループは、水・液体計測に関わるグループ内の知識・経験とノウハウを融合し最大限に活かすべく、関連する研究開発・設計・セールス・ものづくりのエキスパートを堀場アドバンステクノに結集しました。“HORIBA Water Experts”の誕生です。HORIBA Water Expertsは、水・液体計測技術を通して、水に関する各種問題の解決や水処理プロセスの生産性向上に貢献することを目指します。そして、水・液体計測の専門家として、HORIBAグループだけが実現できる価値を迅速かつ効果的に創出してゆく所存です。

ロゴ“Beyond Water with You”に込めた思い

打ち寄せる波は、研究室・環境・産業などの多様な水・液体関連分野を表し、水玉は、そこから生み出される新たな製品や事業をイメージしています。また同時に、開発・生産・営業が一つになって社内に波をおこし、新たな技術・製品を生み出すというプロセスも表しています。

“Beyond Water with You”- 私たちは、水の未来を皆様とともに創造し、持続可能な水循環社会、さらには産業の発展に貢献するパートナーであり続けたいと願っています。

●HORIBA Water Expertsブランドメッセージ

生命をつかさどる“水”。
それは人の暮らし、それを支える産業や
自然環境においてなくてはならない存在です。
しかし、さまざまな姿で存在する“水”を把握し、
最適な状態に制御することはとても難しいことです。

“水”を活かすことは未来を創ること。
未来に向けて“水”の難しさやおもしろさを皆様と共に追求していきたい。

皆様が直面する水・液体の課題に対して、分析技術でその答えを見出すために
私たちは“水”のエキスパート集団であり続けます。

“Beyond Water with You”

●ロゴイメージ



Beyond Water with You